

2. 具体的な取組の検討

中原区の魅力を活用した地域住民の交流		
意見の整理	①考えられる取組	②考えられる実行主体 (担い手)
	※他都市事例などを参考にこれまでに出了た意見や課題、アイデアを踏まえて考えられる取組を検討します。	※①の取組について、考えられる実行主体を検討します。 ※取組の条件として、市民（団体含む）が主体によるものや市民と行政の協働によるものとなります。
気軽に参加できる・参加したくなる機会づくり	■マップの作成 中原区の歴史や文化資源などの魅力資源を巡るコースマップを作成する。（現歴史散策マップの改訂版） （自転車で巡るコースマップも考えられる） ■マップに連動したイベントの開催 コースマップを活用したウォーキングイベントを開催する。 ■既存の行事やイベントを活かす 区民祭のステージで中原区の歴史文化の魅力を紹介する。（例：区民祭で中原区の歴史文化の魅力を紹介するブースやコーナーをつくり、スタンプラリーで回るようにする。）	
親子で参加できる機会づくり 交流できるアイテムの作成	■子育てグループと連携した取り組み 子育てグループと連携して中原区の魅力資源を巡る親子ウォーキングを企画する。 ■子どもが魅力資源に興味を持つような冊子等の作成 中原区の歴史や文化財、行事などを親子で楽しめるような冊子、紙芝居などをつくり、区内の小中学校やこども文化センター等に置く。 ■なかはらかるたの作成とイベントの開催 中原区の魅力資源を表した「なかはらかるた」を作成し、区内の学校やこども文化センターで活用してもらう。 なかはらかるたの大判を作成し、区民祭などでかるた大会を開催する。 ■子育てふれあいカフェで紹介 子育てふれあいカフェで中原区の歴史文化の魅力を紹介する。 ■なかはら音頭の作成 中原区の魅力資源を歌詞の中に入れた「なかはら音頭」を作成し、地域で開催される盆踊りなどで活用する。	
学校との連携	■出前事業の開催 区内の寺社などに関わる人が、学校の授業などに出向いて講演を行う。 ■学校の遠足等の活用 学校で生徒が中原区の寺社や史跡を巡るイベント（遠足のようなもの）や写生大会を開催する。	
歴史文化資源を広げる担い手	■ボランティアガイドの育成 中原区の名所を案内する「中原区ボランティアガイド」を育成する。（対象は、シニア層や小中学生） ■生徒による紹介動画の作成 区内の中学校、高校の放送部などと連携して、区内で開催される行事やイベントを取材し、動画を作成する。	